

平成31年度 小熊小学校 第1回 学校運営協議会 議事録

平成31年4月25日(木)

午前10時30～正午

会場/小熊小学校会議室

議題

1 校長あいさつ

- ・当たり前としてきたことも見直す必要がある。
- ・子どもに付けたい力を共有し、協力をお願いしたい。

2 委嘱書の交付

- ・市教委から、昨年度の会長である柳川禎章委員に交付した。

3 会長及び副会長の選出について

- ・会則に基づき校長より、会長に柳川禎章委員、副会長に大野木真委員を推薦したところ、委員の皆様から承認いただいた。

4 学校運営協議会の趣旨について(小熊小学校 学校運営協議会会則)

- ・会則を説明した。

5 今年度の学校経営方針について

- ・学校経営方針を説明した。・・・承認していただいた。

6 「魅力ある学校づくり事業」年間計画について

- ・補助金交付申請書を説明した。・・・承認していただいた。
- ・事業計画書を説明した。・・・承認していただいた。

7 学校評価の計画について

- ・学校評価計画を説明した。・・・承認していただいた。

8 意見交流

委員：賛助会費をやめたのはなぜか。それでやっていけるのか。

学校：10年以上前から廃止への動きがあった。賛助会費を集める時代ではない。PTA活動もお金を使わない形でやっていきたい。高齢者世帯も多く、集める地区委員さんも会費を集めにくいと聞いている。

委員：市PTAでも、活動を見直す動きがある。子どもが減っている中で、PTA活動も変えていかないといけないと感じている。

委員：賛助会費がなくなったことで、子どもに影響が出ないようにしてほしい。

学校：予算の範囲内でやりくりし、教育の質を落とさないようにしていく。

委員：不登校や虐待等はあるのか。

学校：完全に不登校という子はいない。虐待などもない。

委員：家庭の姿は見えにくく、経済状況など分かりにくい。民生委員は家庭に入りにくい。

委員：子ども食堂の状況では、支援が必要な方が利用しているとは限らないと聞く。

委員：10連休の対応はどうなっているか。市内の保育園でも10連休にしたが、働いている親が多い状況である。

委員：10月より保育料の無償化が始まり、どんな影響が出るか心配である。園では、主体性を育てる保育を心がけて、小学校へのスムーズな接続を図っている。

委員：交通安全協会では月に1回、老人クラブでは金曜日に子供たちの安全な通学のための見守りをしている。校区では交通量の多い、道幅が広い道路を子供たちが横断することになる。町全体で、協力できる体制作りをしなければならない。

学校：外栗野交差点での朝の見守り活動を、外栗野の保護者の支援で行っているが、子どもの数が減ってきて、保護者による毎の見守り活動の継続が難しい。

委員：高齢者の事故が多く、心配をしている。

委員：「子ども総会」と「1年生を迎える会」を参観したが、子供同士でもきちっとやっている。参観していて爽快感があった。コミセンの行事に、たくさんの子どもが参加してほしい。

市教委：当たり前だったことを見直していく。通学の見守りを地域で行うことで学校の先生はノートを見たり、教材研究をしたりする時間を確保することができる。学校でやらなければならないことに力を入れることができる。

委員：親世代の考え方は、昭和世代と違う。若い人の考えを生かしていかなければならない。相手の立場に立った考え方も分かっていかないといけない。

9 その他

- ・今後の開催予定 第2回／9月30日、第3回／1月29日
- ・学校行事の案内文書の発送 運動会（5月25日）

10 校長 あいさつ

- ・お忙しい中、貴重なご意見をありがとうございました。引き続き、よろしく申し上げます。